

2019.11

# 台風15.19号で被災した浄土宗寺院を支援するための 義援金のご報告とお礼

## 法蔵院十夜法要参列者様より 義援金総額

# 25,206円

### をお預かりしました。

あなたとお寺をむすぶ ふれあい新聞

浄土宗 Honen Buddhism 新聞

令和元年 2019 No.633

11

Jodo Shu Buddhist Internationalism <https://jodo.or.jp/>

発行：浄土宗 / 編集：浄土宗出版  
東京高尾区北山5-1-4 浄土会館3階  
TEL 03(3430)3700  
購読お申し込みは12画をご覧ください

## 台風19号 寺院にも大きな被害



13日正午前、長野市・善導寺に自衛隊の救出が入る様子。ヘリコプターから自衛隊員がロープで降り、吉水住職の母親を救出している。水位は腰から胸まで上がったが、本堂の浸水は免れた。©共同通信社

### 河川決壊とめどない濁流

大型で非常に強い台風19号は10月12日から13日にかけて本州を縦断し、東海・関東、東北地方を中心に暴風、記録的な降雨をもたらした。死者68名、行方不明者12名（内閣府発表）、10月20日発表の人的被害を出ては、多くの家畜に甚大な被害をもたらした。浄土宗寺院にも多数被害が出ている。

浄土宗に寄せられた情報によると、岩手教区1カ寺、宮城教区7カ寺、福島教区8カ寺、栃木教区2カ寺、新潟教区1カ寺、長野教区2カ寺、長野教区5カ寺（10月21日現在）が被害を受けたほか、檀信徒も被災した。

豪雨による河川氾濫の被害が甚しく、長野市北東の穂保地区では千曲川の堤防が決壊、同地区に隣接する善導寺（同市大町・吉水里香住職）には濁流が流れ込み、客殿・庫裏（居住部）などの一階部分や墓地が水没した。

吉水住職によると、13日未明にかけ水位が急速に上がり1階が浸水、停電による暗闇のなか、母親と二人、二階に避難し、いつ飲み込まれるかわからない「極度の不安」に襲われながら過ごしたという。日が昇った正午前に二人は自衛隊のヘリコプターによって救出された。『本当に救います』と電話で何度も励ましてくれた警察の方の勇がどれだけ救いになったか、感謝してもきれない」と吉水住職は振り返る。

また、同市松代町の長明寺（小市龍弘住職）、同市井御瓶川の香福寺（滝沢圭隆住職）でも床上浸水の被害があり、水が引いた14日から長野教区の青年僧侶がボランティアに入り、泥のかき出しなどを行った（写真）。

2面に関連記事



長野教区青年僧のボランティアの様子。浸水した堂を外へ運ぶ（長明寺、10月17日撮影）



↑ 十夜法要の様子

## 法蔵院・津久井浜学園からの義援金と合わせて

# 525,206円を

### 浄土宗へ送りました。

### 皆様の温かいご支援、誠にありがとうございました。

**法蔵院** **津久井浜学園**